



院外版

TSUYUKUSA

秋のご挨拶

院長 柿木 滋夫



令和2年も残すところ3か月。暑かった夏も終わり秋物の出番、冬支度の季節となりました。今年は何といても新型コロナウイルス感染症の対応に苦慮した年となりました。1月に日本で初めて新型コロナウイルス感染症患者が発生し、北海道でも1月28日に1例目が発生しました。2月28日には道が「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を発出し今後どのようになるのか不安でいっぱいでした。その後、小樽でも「昼カラクラスター」、「市立病院クラスター」なども発生しました。

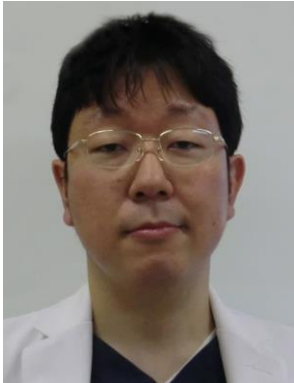
当院においても感染予防の観点から患者様への面会禁止、手指消毒の徹底、三密の回避、正面玄関の時間外・夜間の閉鎖など行っております。皆様にはご不便をおかけしておりますが、なにとぞご協力よろしくお願いいたします。また、職員においても手指消毒の徹底、三密の回避など感染予防対策を行っております。早期の収束に向けてワクチン開発、治療法の確立が望まれます。

また、当院は今年度病院機能評価の更新を迎えております。職員一丸となって理念の「患者様に寄り添い良質で心のかよった優しい医療をめざす」ため日頃の診療・看護等の見つめ直しを行ってきました。これからも患者・家族から信頼される医療を目指していきたいと思っております。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症が早期に収束し、落ち着いた日々の暮らし、生活様式が戻るように願ってやみません。

着任のお知らせ

10月より呼吸器内科医師が二名着任致しました



児島 裕一
(こじま ゆういち)
出身：北海道大学
一言：小樽の街で精進してまいります。
皆様どうぞよろしくお願ひ致します



工藤 準也
(くどう じゅんや)
出身：札幌医大
一言：小樽の地域医療に貢献できるように頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します

産婦人科外来のご紹介

当院の産婦人科外来には、海が見える街で微笑む母子のイラストが飾られています。鹿児島県徳之島のお産を支える助産院へクラウドファンディングした際のお礼として、分娩再開の月にお産をされた妊婦さんと赤ちゃんにモデル協力をお願いし、プロのイラストレーターの方に描いてもらいました。

どんな認定証や賞状を飾るより、患者さんを和ませてくれている気がしています。



『訪問外来栄養指導』はじめました

管理栄養士 室田里恵

令和2年4月の診療報酬改定において外来栄養食事指導料の算定要件がわかり、医院・診療所において他の医療機関に所属する栄養士、栄養ケアステーションの管理栄養士が栄養指導を行うと『外来栄養食事指導料2』として1回目250点（2回目以降190点）の算定ができるようになりました。



今回の改定に伴い当院では、令和2年9月より管理栄養士が在籍していない医院・診療所を訪問し、栄養指導を行う取り組みを始めました。

今までは管理栄養士が配置されていない医院・診療所の場合、栄養指導を受けるために他医療機関の受診を行う必要がありましたが、今回の改定で通いながれた医院・診療所で栄養指導を受けることができます。

市内医療機関に当院の取り組みを紹介したところ早速、訪問外来栄養指導のご依頼があり、訪問させていただきました。初めての栄養指導でしたが、患者様からもいろいろなご質問をいただき、あっという間の30分でした。

まだ始まったばかりの取り組みですが、患者様に適切な指導・アドバイスが行えるよう精進するとともに地域の医院・診療所と連携し、ご要望に応えていきたいと思っております。



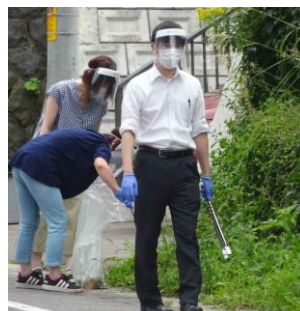
お問い合わせは・・・小樽協会病院 栄養管理室 0134-23-6234 まで

栄養指導とは・・・

その病態に応じた食事相談や食事療法を提案するものです。何をどれくらい食べたら良いのか？患者様個々の食習慣や環境に配慮し、食べ方のコツや調理の工夫について実行可能な提案をさせていただきます。

病院周辺のごみ拾いを行いました

9月5日に、秋のごみ拾いを行いました。例年ですと春と秋の二回行っていましたが、春はコロナの流行のため中止になりました。今回のごみ拾いでは、感染予防策をしっかりと行い、職員同士密にならないように行いました。少しでも地域のお役に立てると嬉しく思います。



たくさんのご支援を頂いています

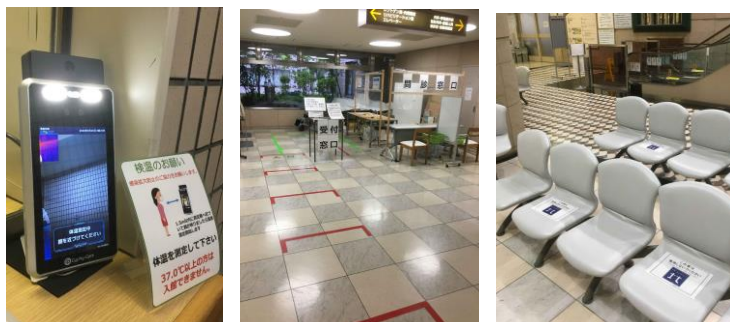
コロナ禍で全ての人が大変な中、患者様をはじめ企業の皆様よりたくさんのお言葉、医療品などが届いています。「入院しているお子さん達にお渡しして下さい。」と素敵な手作りのマスク、「大変でしょうけど医療現場で頑張っている皆様にお渡し下さい」とあんパンやクリームパン、その他にもたくさんのお気持ちや物品を頂きました。そのような温かいお心遣いに職員一同心より感謝申し上げます。

NPO 法人ハンズハーベスト北海道様、小樽ロータリークラブ様、サトーヘルスケア株式会社北海道営業グループ様、株式会社日立製作所ヘルスケアビジネスユニット様、有限会社熊谷テント製作所様、北海道味の素株式会社様、小樽市保健所様、株式会社小樽地鶏本舗様、末日聖徒イエス・キリスト教会様、株式会社シヨクセン様、オーセントホテル小樽様、他にもたくさんのご支援をいただいています



当院でのコロナの感染予防のための対策紹介

当院でも感染予防に配慮し、ソーシャルディスタンスを保つため、待合の椅子や受付の床に印をつけたり、職員の検温を義務化しています。また入館する人々の検温が自動にできるような機材を準備中で、さらなる予防対策を行っていきます。



「北海道スタイル」安心宣言

小樽協会病院は、
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、
「7つ+ONEの習慣化」
に取り組みます！

1. スタッフのマスク着用、小まめな手洗い、手指消毒を積極的に行います。
2. スタッフの健康管理を徹底します。
 - ・ 体調不良の職員は業務に従事させません
3. 施設内の定期的な換気を行います。
4. 設備、器具などの定期的な洗浄・消毒を行います。
5. 人と人との接触機会を減らすことに取り組みます。
 - ・ 一定の距離(2m程度)を確保するソーシャルディスタンス
 - ・ 受付や問診ブース等に間仕切りを設置する飛沫防止策
 - ・ 出勤時の混雑を避けるための時差出勤
6. 来院者にも咳エチケットや手洗いを呼びかけます。
 - ・ 入館時のマスク着用、手指消毒にご協力ください
7. 院内掲示やホームページなどを活用し、来院された皆さんに積極的にお知らせします。
(感染症対策の可視化(見える化)を行います)
8. 入院患者様の面会は原則禁止としています。

小樽協会病院 病院長

小樽協会病院ではコロナ感染対策を十分に取りながら、各学生実習を再開しています

ナースを目指す！小樽桜陽高校の生徒さんが来院されました

看護師を目指す高校生に実際の業務や内容などを体験してもらいインターンシップ、例年では多くの高校生に参加していただきましたが、今年は規模を縮小して開催、小樽桜陽高校の生徒さんが参加いたしました。

2名ずつ3日間と短い時間でしたが、初めて看護ユニフォームに身を包み、病棟見学とシミュレーターを使った採血等を



新人看護師として再会出来る日を
楽しみに待っています！



「がんばるぞポーズ！」
いただきました！

体験されて皆さんのフレッシュな笑顔、また、『ナースになりたいです！』と真っ直ぐな瞳で話された姿は当院職員にとっても新鮮で良い刺激を頂けた時間になったと思います。

これから受験に向けて勉学に励みつつ、残りの高校生活を存分に楽しんでほしいものです。職員一同、皆さんと今度は新人看護師として再会できる日を楽しみに待っています。



北海道科学大学の薬学実務実習生の受け入れ

小樽協会病院薬剤科では、8/24から2か月半、北海道科学大学5年生2名、薬学実務実習の受け入れをしております。現場での様々な経験を重ね、将来優秀な薬剤師になるため毎日頑張っています。

～学生さんの声～

「小樽協会病院のみなさんはとても優しく指導してくださり、毎日新しい発見があります。これからも有意義な実習生活にしたいと思います。よろしくお願ひします。」

「小樽協会病院の職員のみなさんは優しく、またメリハリをもって仕事をしており楽しく実習をさせてもらっています。2か月半頑張ります！」

優秀な薬剤師を目指して頑張ってください！応援しております！



編集後記

今年は特に暑い夏でしたが、朝夕になるとすっかり寒くなってきました。温かい鍋が恋しくなりますが昔のように大勢で集まって宴会ができない状況です。コロナが収束してみんなで乾杯できる日まで頑張りましょう。

小樽協会病院広報誌“つゆくさ” NO.61

発行：小樽協会病院編集委員会

発行日：令和2年10月

発行人：柿木 滋夫

編集委員長：渡辺 直輝